

事業の概況

事業方針

平成28年度は当金庫創業90周年の年にあたることから、経営計画のテーマを「創業90周年～地域への感謝と新たなスタート～」とし、地域の皆様方の永年にわたる温かいご支援、ご協力への感謝とともに、基本理念“地域に役立つ信用金庫”を抛り所として、創業以来諸先輩方が苦勞を重ねて築かれてきた「地域からの信頼」をより確かなものにしていくこととしました。

創業90周年事業の柱として、当金庫の90年間の歩みを記録した「八幡信用金庫九十年史」を編纂するとともに、平成24年より地域の歴史を学ぶ場として開催してきた「灌花塾」の講義内容をまとめた冊子「郡上の歴史を学ぶ」を刊行しました。

経営計画については、「成長力」「収益力」「健全性」の三つの観点での重要施策を実施し、相互に連環させることを基本戦略として業務に取組みました。

- ①「成長力」：組織力の発揮と人材の成長、業務改革の深化
 - ・組織力の向上を目指すため職員一人ひとりが輝いて働ける環境づくりとして、「新人事制度」を導入し、職能資格基準を始め給与規定など人事関連規定を改正しました。また、多様な働き方をサポートするため、パートおよび嘱託職員の職員登用制度を導入しました。
 - ・業務改革推進のため、組織横断的な「業務プロセス改善委員会」を設置し、各業務における問題点を抽出するとともに改善策を策定・実施しました。
- ②「収益力」：預金基盤と貸出金、預かり資産の増強、資金運用力の強化
 - ・「春のサンキュー」キャンペーンを始め、創業90周年事業の一環として各種キャンペーン商品を提供し預金基盤の拡充を図りました。また、事業先への融資提案推進として、簡便性の高い事業性フリーローン「即戦力」を発売するとともに、住宅ローンの積極的な対応を図りました。
 - ・資金運用における国際分散投資の更なる拡充と、機動的売買によるキャピタルゲインの増加を図りました。
 - ・純金積立、NISA口座における投資信託定時定額販売等預かり資産業務の拡充に努めました。
- ③「健全性」：ガバナンス、コンプライアンス態勢、リスク管理態勢の強化
 - ・総代会機能向上に向け総代選任等に関する体制整備を図るとともに、会員向けアンケートを実施し業務への反映に努めました。
 - ・コンプライアンス担当者を中心とした毎月の勉強会とともに、引き続きコンプライアンス態勢の強化に努めました。

事業実績

■預金積金

預金積金残高は、1,103億10百万円と前期比40億53百万円(3.81%)の増加となりました。

■貸出金

貸出金残高は資金需要の低迷から295億90百万円と前期比1億24百万円(0.42%)減少となり、その結果、預貸率は1.14%低下の26.82%となりました。

損益の状況

収益面においては、貸出金利息が前期比47百万円減少の5億62百万円、資金運用業務において国際分散投資の更なる拡充を図った結果、有価証券利息配当金は前期比9百万円増加の8億25百万円となりました。加えて機動的売買に注力した結果、国債等債券売却益5億41百万円、株式等売却益5百万円をそれぞれ計上し、経常収益は21億65百万円となりました。

費用面においては、預金利息が前期比16百万円減少したものの、国債等債券売却損が49百万円増加したことなどから、経常費用は14億99百万円となりました。

この結果、経常利益は前期比37百万円増加の6億66百万円、当期純利益は前期比77百万円増加の4億51百万円となりました。

当金庫の対処すべき課題

当金庫は三つの観点での重要施策を実施し、連環させていくことを基本戦略といたします。

(1) 成長

本部と営業店の連携等「組織の強化」を図りながら、地道な営業活動により取引先・顧客との双方向のコミュニケーション向上に努め、信頼関係を深化させるとともに、最適な金融サービス提供を通じて営業基盤を強化して成長性を保持し、もって地域の成長、発展に貢献していきます。

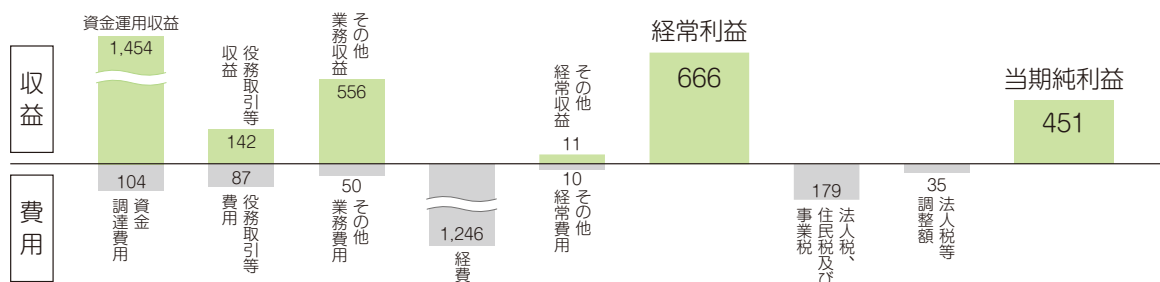
(2) 収益

取引先・顧客の資金ニーズへの的確な対応や、経営改善・事業再生・事業承継等を通じた新たな資金ニーズの発掘による貸出金利息収益の増強、預かり資産業務注力による手数料収益確保、適切なリスク管理態勢の下での資金運用力の強化を図るとともに、効率的な業務運営を行っていきます。

(3) 健全性

リスク管理態勢およびコンプライアンス態勢を強化するとともに、中・長期的に自己資本の充実と健全性諸比率向上を図り、成長戦略、収益確保へと連環させていきます。

収益と費用 (単位:百万円)



Word 経常利益

業務純益を含む業務内、業務外の通常発生する収益から、その収益を得るために発生する費用を差し引いたものです。

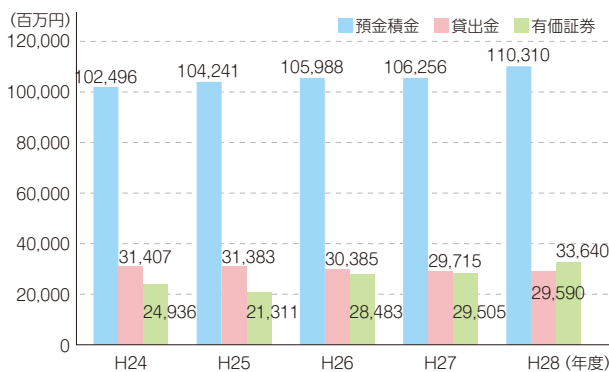
当期純利益

経常利益に突発的な収益や費用(特別利益・特別損失)を加減し、法人税等を控除したものです。

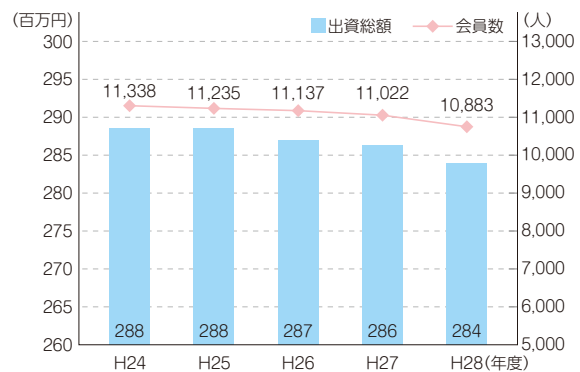
主要な経営指標

		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
経常収益	(千円)	2,495,796	2,394,001	2,112,727	2,144,689	2,165,602
経常利益	(千円)	722,820	745,455	626,587	628,544	666,215
業務純益	(千円)	763,820	597,656	553,669	662,030	695,615
当期純利益	(千円)	512,562	549,295	456,413	373,370	451,266
出資総額	(百万円)	288	288	287	286	284
出資総口数	(千口)	576	576	575	572	568
純資産額	(百万円)	9,778	9,230	11,660	10,198	9,801
総資産額	(百万円)	113,388	114,471	118,961	117,401	121,091
預金積金残高	(百万円)	102,496	104,241	105,988	106,256	110,310
貸出金残高	(百万円)	31,407	31,383	30,385	29,715	29,590
有価証券残高	(百万円)	24,936	21,311	28,483	29,505	33,640
単体自己資本比率	(%)	28.06	30.77	35.28	35.87	38.58
出資に対する配当金(出資1口当たり)	(円)	20	20	20	20	20
1店舗当たり	預金積金残高(百万円)	11,388	11,582	11,776	11,806	12,256
	貸出金残高(百万円)	3,489	3,487	3,376	3,301	3,287
役職員1人当たり	預金積金残高(百万円)	748	820	875	863	889
	貸出金残高(百万円)	229	247	251	241	238
役員数	(人)	15	15	15	15	14
	うち常勤役員数(人)	7	7	7	7	7
職員数	(人)	130	120	114	116	117
会員数	(人)	11,338	11,235	11,137	11,022	10,883

預金積金・貸出金・有価証券の残高



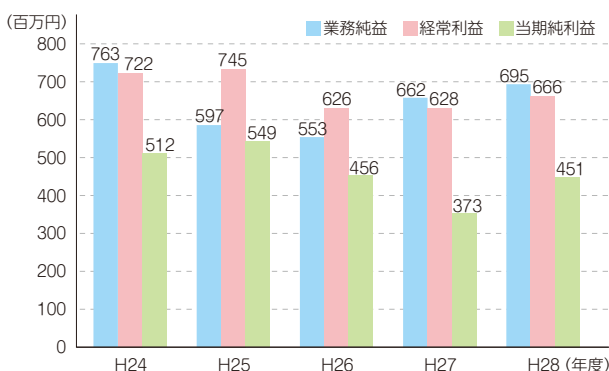
出資総額と会員数



(注) 当金庫の会員資格は、当金庫の事業地区内にお住まいの方、お勤めの方、事業所をお持ちの方およびその事業所の役員の方となっております。

ただし、法人の場合は従業員が300人以下または資本金が9億円以下の事業者に限られます。

収益の推移



Word

業務純益

金融機関の基本的な業務に係る利益を示すものであり、いわゆる本業による利益です。具体的には業務粗利益(資金運用収支・役務取引等収支・その他の業務収支の合計)から、業務遂行に必要とされる費用、つまり「経費(除く臨時経費)」を控除したものです。